

## 働くこと

## 「働くことは社会的自立の第一歩!」



こんなことはありませんか?

ひろしさんは中学校2年生。夏休みには「職場体験」の学習があります。どこでどのような体験をさせてもらおうかと悩んでいます。将来、就きたい職業が決まっているわけでもなく、ひろしさんにとって「働くこと」は、まだまだ遠いことなのです。

ある日の夕食時、ひろしさんは、お父さんに「何で働いているの?」と、聞いてみました。急に聞かれたお父さんは、びっくりしながらも、「家族が暮らしていけるように収入を得るためでもあるけれど、今の職業が好きなことが一番かな。何かの仕事をやり遂げた時の達成感が生きがいなんだよ。」と答えてくれました。

その会話を聞いていたお母さん。今まで、学校の成績について考えることはありましたが、将来、子どもが「職業に就いて働くこと」については、あまり考えたことがありませんでした。今、何を大切にして、子どもに接していくべきなのかを改めて考える必要性を感じました。

ワーク1

あなたは、お子さんの「夢」や「希望」を知っていますか。また、お子さんと、将来の「職業」を含めて、「進路」について、話合ったことがありますか。

.....

.....

.....



## ワークシート2

## ワーク2

将来、子どもが職業に就いて働くために、今、大切にしなければならないことは何だと思いますか？



## ◇他の方の意見をメモしましょう◇



いいね!



いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



まずは、受験などの目先のことだけではなく、「夢や希望」「働くことの値打ち」等について、子どもと話す機会をもつことが大切だと思うよ。そして、最終的には、子ども自身がいろいろな情報を収集・選択し、自分らしさを発揮できるよう、自分自身で進路を決めることができる力をつけることが大事だね。学校では「キャリア教育」が行われているそうだよ。

# 実践カード

働くこと

## 親子話し合いシート ~未来を描こう~

〇話し合いシートにそって、親子で記入してみましょう。

名前

子

自己PR (自分の良い所・得意なこと・好きなこと・頑張っていること)

親

お子さんPR (お子さんの良い所・得意なこと・好きなこと・頑張っていること)

将来はこんな大人になりたい  
(将来の夢・こんな職に就きたい)



将来こんな大人になってほしい

そのために付けたい力・頑張りたいこと

そのために親ができること

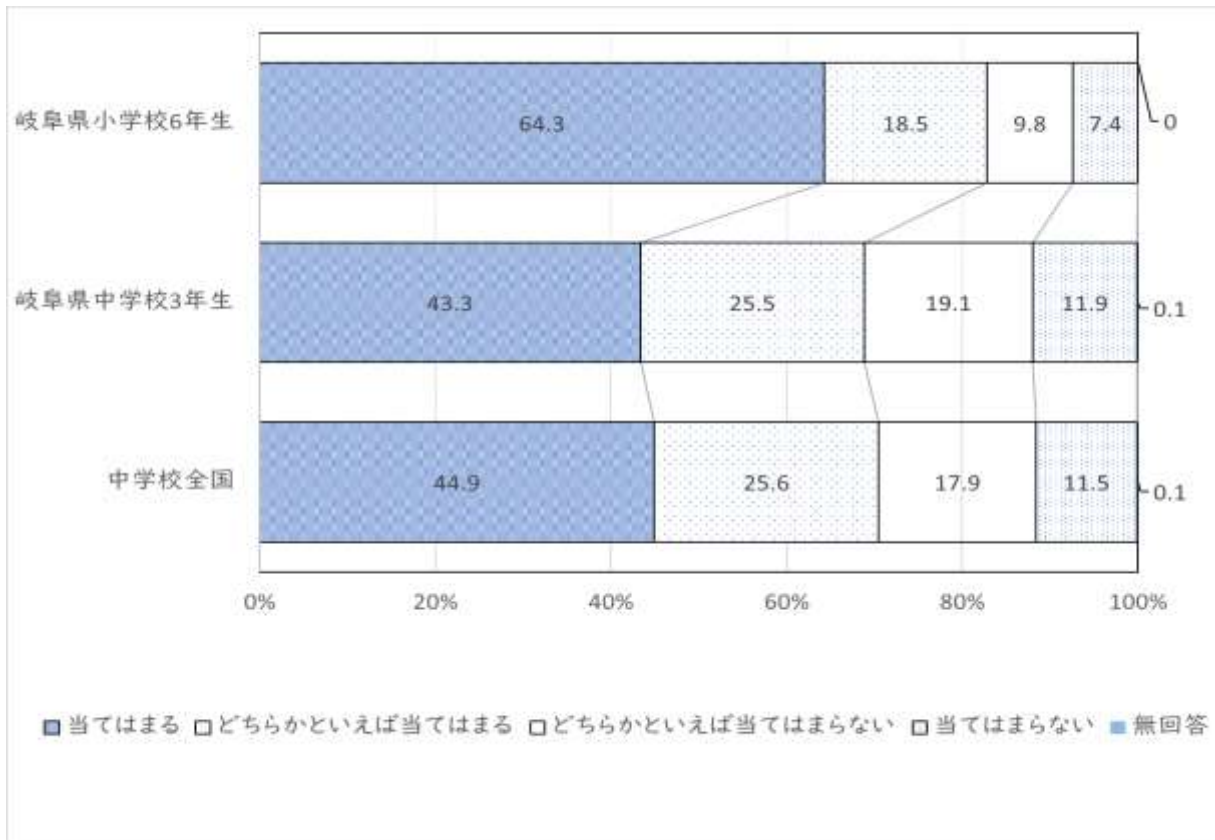
### 親子で話し合った感想・メッセージ

〈子から親へ〉  
-----

〈親から子へ〉  
-----

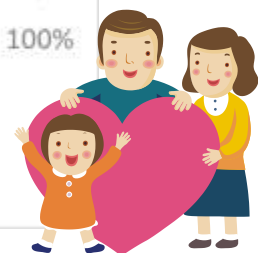
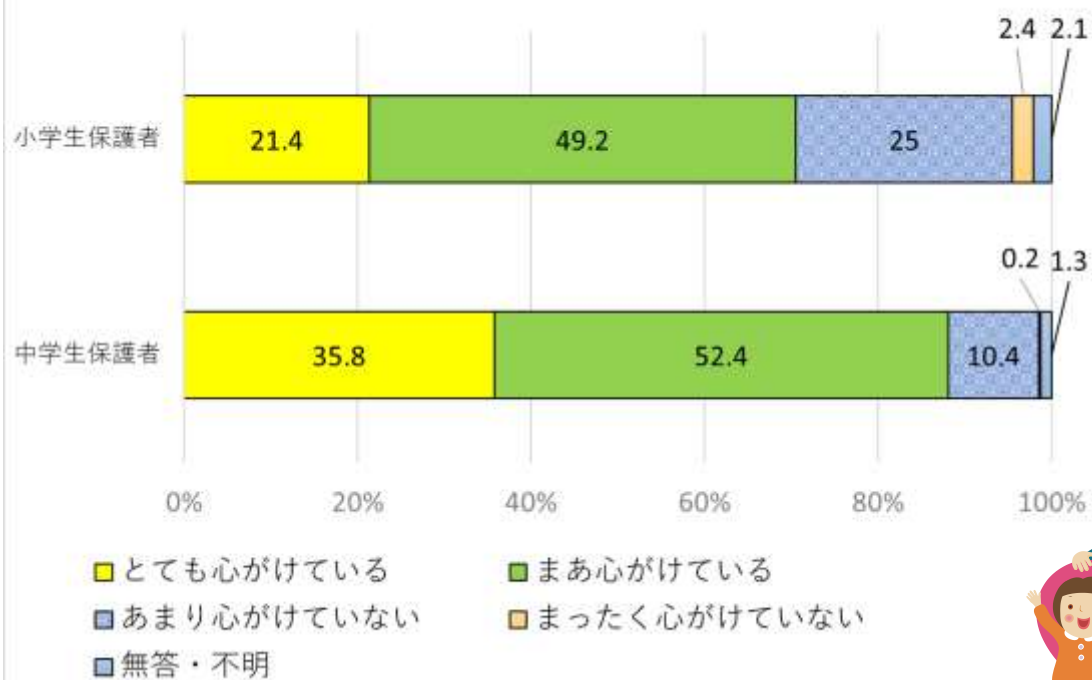
## 資料2

## 将来の夢や目標を持っていますか



出典:「平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料」をもとに作成  
(国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>)

## 家庭教育で心がけていること 〈将来や進路について話をする〉



出典:「義務教育に関する意識調査」(平成17年度)をもとに作成  
(文部科学省 [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/05072201/s002\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/05072201/s002_2.pdf))

## 育てたい職業観・勤労観とは？

- 【理解したいこと】
- ・職業には貴<sup>き</sup>賤<sup>せん</sup>がないこと
  - ・職業について働くためには、きまりを守ったり責任が伴ったりすること
  - ・働くことは、生計の維持だけでなく、社会の一員としての役割を果たすこと
- 【身につけたい態度】
- ・働くことは、個性を生かした価値あるものであるという自覚
  - ・働くことへの自分なりの構え(考え)をもつこと
  - ・将来の夢や希望の実現を目指して取り組もうとする意欲的な態度

出典：「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」

(国立教育政策研究所生徒指導研究センター [https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/22career\\_shiryoushu/2-08.pdf](https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/22career_shiryoushu/2-08.pdf))

## 職業観・勤労観を育てるために大切なのは



## 資料4

## 将来自分らしく生きるために

子どもたちが、「生きる力」を身に付け、社会の厳しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようにする教育が強く求められています。

出典：「小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引—児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために—」  
 (文部科学省 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/070815/all.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/070815/all.pdf))

## 岐阜県でも

「自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる」ことを進路指導の方針に、各小・中学校でキャリア教育が推進されています。

## キャリア教育とは

## 〈キャリア教育〉

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

## 〈キャリア発達〉

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をキャリア発達という

出典：「キャリア教育とは何か」

(文部科学省 [https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/fieldfile/2011/06/16/1306818\\_04.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/06/16/1306818_04.pdf))

子どもたちが将来自立した社会人となるための基盤をつくるために、家庭や地域が学校と連携して、同じ目標に向けて協力することが一番大切なことだね。

2020年からキャリアパスポートが小中高校に導入されたそうだよ。子どもたちが迷ったり悩んだりしているときには、人生の先輩として相談に乗ってあげてな。





## 〈キャリアパスポート〉

小学校から高等学校の12年間を通じて生徒自身が変容や成長を自己評価し、未来への展望や見通しができるように工夫されたポートフォリオのこと。

※ポートフォリオとは教育の分野では個人評価ツール(パーソナルポートフォリオ)のことを指す。

## ねらい

- 社会的自立には、「働くこと」（職業的自立）が必要であることや、そのために、「夢や希望」「働くことの意味打ち」について考えることが大切であることを話し合ひましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p><b>はじめのことば</b></p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は、お子さんが将来『働くこと』の意味について考えましょう。」</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなる。</p> 
40分	<p><b>アイスブレイク</b></p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <p>◆グループ内で順番に自己紹介をする。</p> <p>◆自己紹介の中に「実は…」で始まる文を必ず入れる。</p> <p><b>3つの約束の確認</b></p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <p>◆3つの約束を確認する。</p> <p><b>ワークショップ</b></p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <p>◆「こんなことはありませんか？」を読む。</p> <p>&lt;ワーク1&gt;</p> <p>「あなたは、お子さんの『夢』や『希望』を知っていますか。また、将来の『職業』を含めた『進路』について、話し合ったことがありますか。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、高校入試のことしか話していない。</li> <li>・子どもの良さが生きる職業に就いてほしいと考えているが、そのことを伝えたことはない。</li> <li>・自分で決めればよいと考えているので、話し合ったことはない。</li> </ul> <p>&lt;ワーク2&gt;</p> <p>「お子さんが、将来、職業に就いて『働く』ために、今、何を大切にしなければならぬと考えていますか？ 交流しましょう。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の職業の価値や素晴らしさを伝える。</li> <li>・就きたい職業と学習との関連を明確にする。</li> <li>・何事も自分で決めるようにさせる。</li> </ul>	<p>◇「7 アイスブレイク①」参照。</p>  <p>◇「3 3つの約束」参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇資料2を配布し、自分の家の様子を振り返りながら考えると話しやすい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すことよい。</p> <p>◇食事の時間等を活用して、話し合いの時間を確保するとよいことを助言する。</p> <p>◇資料3を配布し、参考にする。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p>
10分	<p><b>振り返り</b></p> <p>「今日の話し合いを聞いて、よいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校進学のことしか考えていなかったが、将来どのような職業に就いて働くのかについても、子どもと話し合っておくべきだと思った。</li> <li>・「働くこと」の意味等について、体験や経験も伝えることが大切であると思った。</li> </ul> <p>「いろいろな意見の中には、今日から生かせそうなヒントがありました。これからも積極的にこうした機会を活用してください。」</p>	<p>◇代表で1~2人に話してもらう。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができることよい。</p> <p>◇資料4を配布し、「キャリア教育」が行われており、家庭でも理解しておくことよいことを知らせる。</p> <p>◇資料1を配り、各家庭での実践を促す。</p>